

**Metal net****日刊メタルネット**

行所 メタルネット

東京都武蔵野市吉祥寺本町4-3-28

tel 0422-50-1341 fax 0422-50-1342

日刊(土、日、祝祭日は休刊)

購読料 月額7,500円(税別)

## 海外銅相場 下値試すも3400ドル台を保つ 産銅建値の理論値は1万円の下げ含み

海外銅相場は下値試しの展開で一時3400ドルを割込んだが後半に反発し小幅続落で終了した。経済先行き不安を背景に下落傾向を強める米株式市場の動きをトレースする形となった。為替はドル独歩高となり、産銅建値の理論値はトン36万円と現行建値を1万円下回る水準が継続している。

13日朝6時までに入電の速報によると、現地12日のLME銅セツルメントは前日比26.5ドル安の3350.5ドル、3ヶ月物が21ドル安の3395ドルとギリ安で始まった。LME在庫は225トン増の51万6675トンと小幅増加に。上海市場の銅先物が小幅に続落、NY原油相場も1バレル34ドル台まで続落。加えてNY株式市場が売り優勢で始まると、リスク回避からユーロや英ポンド、豪ドルなど主要通貨が対ドルで軒並売られる展開となり、これが嫌気され銅は一時3340ドルまで売られた。ただ、銅に対する売り材料では無いことから、重要な支持線である3370ドルが支えとなって午後から場外取引では切り返し、結局前日終値レベルをほぼ保って終了した。

ロンドンのアナリストは「今後3~6ヵ月間の銅相場ついて弱気なままだが、株や為替など不安定な市場環境を背景にテクニカルな動きを強め、短期的にはこのレベルで乱高下しそうだ」と指摘した。

LMEカーブ終値(3ヵ月物)は、銅が25ドル安の3410ドルで35ドルの順ザヤ。アルミが25ドル安の1380ドル、ニッケルが125ドル安の10325ドル中心。NYコメックス銅3月限は0.55ドル安の1.5345ドル。一方、13

日早朝の為替は主要通貨に対してドル全面高となり、対円でも1ドル=90.80~90円と上昇。この結果、本日の銅の輸入採算値はトン36万円と、建値は1万円の下げ含みとなった。

### 経常益軒並み大幅悪化、6社最終赤字

#### 非鉄製錬大手の3月期見通し

非鉄製錬8社の09年3月期の通期連結業績予想は、経常利益は軒並み大幅に悪化する見通しとなった。08年4~12月の段階で新日鉱HD、三井金属、DOWA・HDが経常赤字となり、1~3月期は減産が本格化するため、三菱マテリアルと住友金属鉱山を除く6社が最終赤字に転落する見通しとなった。円高やLME価格の下落に加え、買鉱条件の悪化やエネルギー価格の上昇が収益を圧迫し、さらに海外鉱山などの投資先の経営悪化や、在庫評価損などが重なって業績悪化が見込まれる。

### 「日本及び中国の非鉄金属リサイクルの現状と展望」

#### 橋本アルミ(株) 橋本健一郎氏が講演

大阪非鉄金属商工業同組合は10日、大阪アークホテルにおいて研修会を開催。橋本健一郎氏(橋本金属(株)、橋本アルミ(株)取締役)が、青年部を代表して講演を行った。演題は「日本及び中国の非鉄金属リサイクルの現状と展望」

講演の詳細は弊社ホームページに掲載しております。(ホームページアドレス<http://metalnet.jp>)